

生きる力の育成

平成21年度指定

学校・地域・家庭が一体となり、ふるさとに誇りを持てる、
心豊かな子どもの育成をめざして

山口市立二島中学校PTA

1 学校地域の概要

PTA会長： 木 谷 博
学 校 長： 杉 山 康 子
生 徒 数： 51名
(家庭数46 教職員数10)
住 所： 〒754-0839
山口市秋穂二島561
TEL：083-987-2007
FAX：083-987-2003
e-mail：futajima-j@yamaguchi-ygc.ed.jp



- (1) 山口市の南部に位置し、瀬戸内海に臨む風光明媚、温暖な農漁村地域である。地区には旧石器時代から古墳時代にかけての多くの遺跡があり、昔からヒトの活動の場として開けていた。また、近世後期の大規模な干拓により農地が拓け、以来農業が盛んな地域である。
なお、地区内には、真言宗の名刹・朝日山をはじめ、八十八ヶ所の札所の一部がある。
- (2) 地域全体が学校教育に対する関心が高く、保護者も生徒の教育に熱心で、学校行事や参観日等への参加率も高く、協力的である。
- (3) 他地域に比べると三世代同居の家庭が多いが、この地域においても少子高齢化が進み、生徒たちが異世代の人と触れ合う機会は非常に少なくなっている。

2 学校の特徴

生徒数51名の小規模校であり、学校行事をはじめ、さまざまな体験活動に全校を挙げて取り組んでいる。

また、地域には幼稚園・小学校・中学校が一つずつ存在しており、生徒の中には、10年以上同じ仲間と生活しているものもいる。そのため、幼・小・中の連携を図った取組を進めていくことが特に大切となってくる。実際、三者が連携することで、幼・小・中学校時代を一貫してとらえることができ、保護者の人間関係も深まり、効果を上げている。

子どもは地域の中で育っていくものであり、地域との連携を図った取組や本校の教育環境を生かした活動を積極的に推進している。

3 本校の教育目標

心のふれあいを教育の基調として、
心身ともに健康で、
たくましい実践力のある生徒の育成

◎ めざす生徒像・教師像・学校像

◆ こんな生徒に

校 訓	め ざ す 生 徒 像
自 主	自分で判断し、行動に責任をもつ生徒
創 意	よく聞き、考え、自分を高める生徒
勤 労	自分で仕事を見つけ、進んで働く生徒

◆ こんな教師に

- 生徒を見つめ、生徒の心を理解できる教師
- 常に本質の究明に努め、創造性を発揮する教師
- 保護者や地域に積極的に関わる教師

◆ こんな学校に・・・「みんなで学び合える、誰もが行きたい学校」

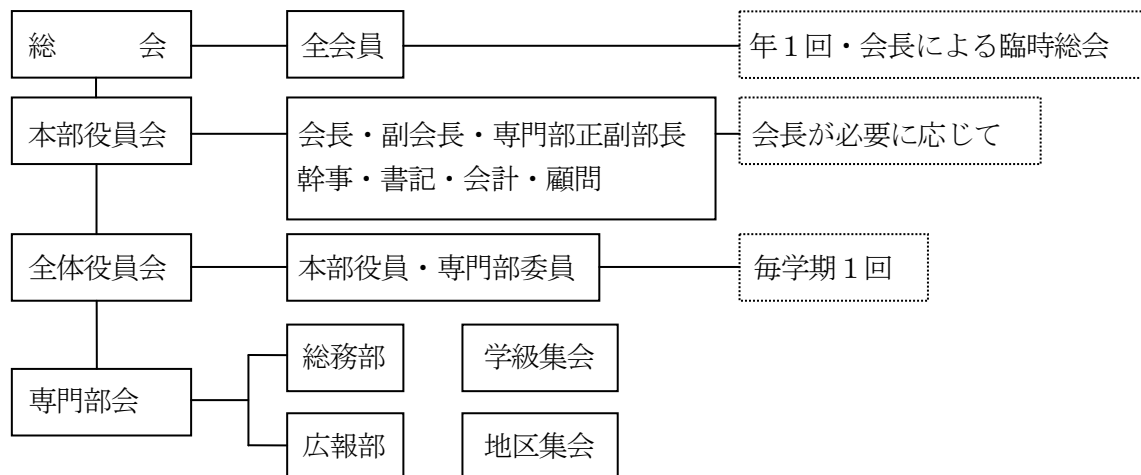
- あいさつが響き合う学校
- 学びがいのある学校
- 保護者や地域から信頼される学校

4 PTA組織と活動

(1) 組織

【PTA役員組織表】

(構成員)



(2) 活動内容

① 本部役員

年間の活動計画・本部役員会・全体役員会の開催・市P県P連等の会合出席
4P連の運営（二島教育講演会）

② 広報部

年3回の広報誌「杵崎」発行

③ 総務部

年4回の資源回収・夏休みの環境整備・体育祭のPTA競技・二島焼き陶芸教室
・文化祭展示準備・地区祭（ふたじままつり）友愛セール（バザー）
・市P連親睦ソフトボール大会・保健に関する講演会

(3) 活動計画

PTAの年間行事

月	行事・会	出席者・関係者	備考
4	PTA本部役員会 (18:30~)	旧本部役員 (三役と専門部長・副部长) 新役員の専門部を決めておく 旧三役・新地区委員	旧本部役員 総会資料確認
	PTA全体役員会 (19:00~)	新学級委員	部長・副部长を決める 総会資料確認
	※資源回収日 4P連協議会で決定	総務部・小学校と交渉	回収業者に期日を知らせる
5	PTA総会	PTA全会員	旧監査委員案内 旧三役に案内 新本部役員認証
6	第1回資源回収		中学校が依頼状
		総務部と一般保護者	講師選定・依頼
8	PTA本部役員会	本部役員	体育祭・文化祭
	PTA全体役員会	本部役員・地区委員 学級委員	体育祭・文化祭
	第2回資源回収 環境整備・二島焼き陶芸教室		小学校が依頼状の決定

9	体育祭	1部の役員	PTA種目の決定 校地内の見回り
10	文化祭	1部の役員	PTAコーナーの設置・合唱
11	ふたじままつり	地区委員	友愛セールの商品収集と 値付け
	第3回資源回収		中学校が依頼状
	市内PTAフットボール大会	保護者（父親）	出場者募集・依頼
2	本部役員会	本部役員	反省と新年度役員の候補 者を定める
	全体役員会 学校保健委員会	本部役員・地区委員 学級委員	専門部の反省とまとめ
	卒業式案内		
	第4回資源回収		小学校が依頼状
3	会計監査	PTA監査委員	PTA会計監査
	入学式案内		

5 研究主題について

**学校・地域・家庭が一体となり、ふるさとに誇りを持てる、
心豊かな子どもの育成をめざして**

(1) 設定理由

今日、子どもたちを取りまく社会環境は非常に多様化してきており、子どもたちが家庭で手伝いをすることも少なくなり、保護者を含め子どもたちと地域のつながりも希薄になってきている。そこで、今一度ふるさとを見直す活動に取り組み、ふるさとに誇りを持てる心豊かな子どもの育成をめざした。

(2) 活動内容

① 勤労体験学習

今日、子どもたちを取り巻く社会環境は大きく変化し、社会や保護者の価値観も多様化・複雑化している。その中で子どもたちが、家庭で手伝いをする事も少なくなり、親と活動を共にする機会も少なくなっている。また、保護者も親同士や地域でのつながりが希薄になってきているように思える。そこで、ふるさとを見直す活動に取り組むことにした。

幸いにも、二島地区においては、子どもたちが豊かな自然に触れ合う機会や、青少年健全育成地区民会議、4P連連絡協議会（幼稚園・小学校・中学校・高等学校）等の活動母体があり、子どもからお年寄りまでが触れ合う機会が多いように思われるので、その活動をより一層充実したものにし、横のつながりをつくっていくことをめざした。

ア 梅もぎ

本校には校内のフレンドパーク周辺に梅林があり、毎年全校生徒が6月に梅もぎを行っている。梅は生徒が選別して袋詰めし、生徒の家庭に持ち帰る。各家庭では梅をつけたり、梅ジュース等を作っている。今年は特に豊作で、生徒は歓声をあげながら、収穫用のかごに山盛りにして、運んでいた。



「梅もぎ」作業



「袋詰め」作業

イ サツマイモの栽培

二島中は伝統的に近所の畑を借りてサツマイモの栽培を行っている。これは生徒たちが植え付けの準備から収穫までを体験するもので、地元のJAの職員や地域の方々に指導を受けながら、学習として計画的に実施している。

また、植え付けや収穫時には二島幼稚園児や二島小学校一年生と一緒に作業し、農作業の体験だけでなく小さな子どものお世話をしながら触れ合いを深めている。保護者にも参加を呼びかけており、幼児・児童・生徒・保護者・地域の触れ合いを図っている。



「畝づくり」作業



指導者の紹介



作業の説明



「植え付け」作業



「植え付け」作業



「園児との収穫」作業

② 環境整備作業

本校のPTA活動のなかでも特に重要な活動が環境整備作業である。が、地域の子どもの減少にともない、保護者の人数も減り、保護者の負担が大きくなっている。そこで、幼稚園・小学校・中学校で協議して作業日を同一日に決め、負担の軽減を図っている。

二島中は敷地が非常に広く、さらに山の斜面に校舎が建っているため草刈りや草抜き作業が困難で、保護者・生徒・教職員が総出で作業に参加している。父親が草刈りした草を男子生徒が集め、母親と女子生徒が草抜き作業をし、共に汗を流しながら触れ合った。



芋畑周辺の「除草」作業



斜面の「草刈り」作業

③ 二島焼き

生徒と保護者がふるさとの文化に接しながらお互いの交流を深める目的で7年前からスタートしたのが「陶芸教室」である。全国的に萩焼は有名であるが、萩焼の土はふるさと二島の粘土が使用されており、地元でもこのことを知っている人は少なく、ふるさとの粘土を使つての焼き物体験を計画した。

当初は好評でほとんどの保護者が参加していたが、自由参加のために年々参加者が減少傾向にあった。そこで、昨年度から、山口県PTA連合会の研究指定に登録し、予算の確保をはかり、保護者と全校生徒・全教職員が参加してふるさとを多くの人に知ってもらう目的で事業を計画した。8月23日には保護者・生徒・職員他地域の人を合わせて92名の参加があり、講師として地元で窯をひらいていらっしゃる佐々木先生と、中西先生をお招きして、二島焼きの歴史や製作の留意点等を拝聴した後、一人一作品を製作した。出来上がった作品は、佐々木先生に窯で焼いていただき、10月の二島中学校の文化祭で展示した。テーマを「ふるさと」にしたこともあり、土をこねて作品を作り上げていく途中で、ふるさとを話題に、親子や保護者同士で語り合いながら、お互いが近い距離になれたと感じた。また、生徒の中には萩焼の土が二島でとれることを知らない子もあり、改めてふるさとを知ることになり、当初の目的を十分に達することができた。

日 時 平成21年8月23日(日) 9:30~11:00
会 場 二島中学校 美術室
指導者 佐々木次郎(萩焼 朝日山 小次郎窯)様
中西 政美(元PTA会長) 様



指導者の紹介



作品づくり(1年生)



作品づくり(3年生)



作品づくり(PTA)



(3) 成果と課題

二島地区では、青少年健全育成地区民会議・4P連絡協議会・サタデープラン等が独自で大変活発に活動している。また、二島中学校PTAも執行部を中心に特色ある活動を熱心に行っている。その結果、本年度は「優良PTA文部科学大臣賞」を受賞し、広報部発行の新聞「杵崎」が山口県PTA連合会の広報誌コンクールで「教育長賞」を受賞した。

しかし、それらの功績や実績は一部の保護者の努力や活動にたよる面があり、活動の目的を多くの保護者や地域の人に理解・協力していただきながら活動を推進しないと、生徒のための活動にならないように感じる。本年度は学校行事やPTA行事に多くの保護者に参加していただき、保護者同士の横のつながりができてきたと思う。今後は二島地区で熱心に活動されている協議会や、4P連絡協議会（幼・小・中・高）との連携をさらに図り、より多くの保護者や地域の方にPTA活動の理解と協力を広めていきたいと思う。